

最先端の技術で、人々の日常に貢献する。
最適のソリューションで、社会の基盤を支える。

NTT DATA

株式会社NTTデータ中国

ITソリューションの提案を通じ 地域の未来につながる価値を創造します。

ITに対する社会の期待は、 さらに進化している

今や日常に欠かせないライフラインになったIT。ITに対する社会の要望は、常に変わり続けています。クラウドやビッグデータ、AI、IoTなど、新たな技術や概念が登場する度、産業や暮らしにどのように影響するかといった社会の期待は高まります。プロである私たちがこれらの声を汲み取り、ITによって何を解決できるのか提案する。そうした力が今まで以上に問われるでしょう。

中国エリアに軸足を置くNTTデータ中国が果たすべき役割の第一は、地域貢献です。当社はこれまで中国エリアにおいて数多くの実績を重ねています。例えば、自然災害の予測・予防、その災害を最小限に食い止めるために行政からの緊急時の情報を住民に伝達する「減災コミュニケーションシステム」、患者情報を電子化し、セキュアなネットワークを介して病院間で連携することにより、迅速な医療行為を実現した「地域医療連携ネットワークシステム」など、これ以外にも社会基盤を支える多くのシステムを手がけています。

そして当社には、NTTデータグループの一員というバックボーンがあります。全世界のグループ連携の中で、最先端の技術・情報に触れる機会も豊富です。こういった強みを武器に、地域ソリューションを提供していかなければなりません。

当社の資産は人財。社員の信念・行動力が 世の中の仕組みを変革する

地域貢献が第一ですが、決して事業フィールドを中国エリアのみに限定しているわけではありません。東京でNTTデータと共に、業界でも最先端の開発案件や国内有数のナショナルプロジェクトに度々参画しています。そして、全国の金融機関様に提供しているシステムの中には、当社が開発したエンジンが使われているシステムが数多く存在します。広島に本社を置きながら、全国規模のビジネスにチャレンジできる機会が当社にはあるのです。

今までのIT業界では、「こういったシステムが欲しい」というお客様のオーダーに答えていくことが主流でしたが、技術が進歩しデジタルの可能性が大きく広がる中、お客様自身「事業やサービスを高めていくために何をすべきか、何が必要か」が見えにくくなっています。これから必要になってくるのは、お客様の業務や課題に寄り添いながら幅広く解決方法を探る課題発見・解決力と、進化する技術を深いレベルで把握し、その可能性を開拓できる専門性です。不確実で変化の速い世の中だからこそ、常に好奇心を持ち、何をすべきか自分で考え行動できる人、絶対に成長するんだという強い信念を持ち、誇りと情熱をもって仕事に取り組める人を当社は歓迎します。



三島 徹
TORU MISHIMA
代表取締役社長

PRIDE of NTT DATA CHUGOKU

社会を支え続けてきた、という誇り

かつて日本電信電話公社として、国家の通信戦略を担っていたNTT。戦略が推進された結果、日本の通信事業は活性化し、ネットワークが整備されました。そのNTTを母体に、国内SI企業の実績を持つNTTデータが誕生。IT分野が立ち上がり、興隆するようになったのです。そんな成立経緯を持つNTTデータグループには、「国家戦略を支えてきた」「社会の根幹を担うシステムを提供している」というDNAが色濃く残っています。もちろん、私たちNTTデータ中国の中にも。

当社は主に、『金融系』『公共系』『法人系』という3つのフィールドで事業展開しています。特に『金融系』『公共系』は、当社の強みです。影響範囲が大きく、ささいなミスも許されない。厳しい規律と高い技術を要求される分野だからこそ、NTTデータのDNAを持つ当社が頼られるのです。この知見は、『法人系』を開拓する上でも効力を発揮しています。

NTTデータ中国はこれからも、「社会を支える」という誇りを持ち、事業を推進します。

Our Field

金融 Finance & Banking

金融機関と小売・クレジット・行政等の決済・収納部門を結ぶ大規模ネットワークシステムを構築。また電子マネーセンターやクレジットカード認証システム的设计・運用等も担当。地元経済の基盤となる金融システムの開発を手がけています。単一の金融機関向けはもちろん、複数の機関が共同利用するシステム開発についても実績も豊富。次世代型バンキングシステムにも着手しています。

<開発システム例>

- ・信用リスク情報統合サービス
- ・都市銀行向け顧客管理システム
- ・金融取引オンラインサービス「ANSWER」
- ・次世代標準バンキングアプリケーション「BeSTA」



公共 Public

税務、雇用・労働、貿易、交通等、産業や暮らしと切り離せないシステムに携わっています。中央官庁には、国民生活の利便性を向上させ、財政問題の解消にも寄与する電子政府実現に向けた取り組みを提供。地方自治体には、行政サービスの充実と業務効率化を両立させるソリューションを提案しています。国家規模から地域密着型、官民連携を支援するITサービスまで全方面で支援します。

<開発システム例>

- ・救急医療情報システム
- ・地域医療連携ネットワークシステム
- ・「マイナンバー」関連システム
- ・県財務システム
- ・公営住宅管理システム
- ・電子入札共同利用システム
- ・減災コミュニケーションシステム



法人 Company

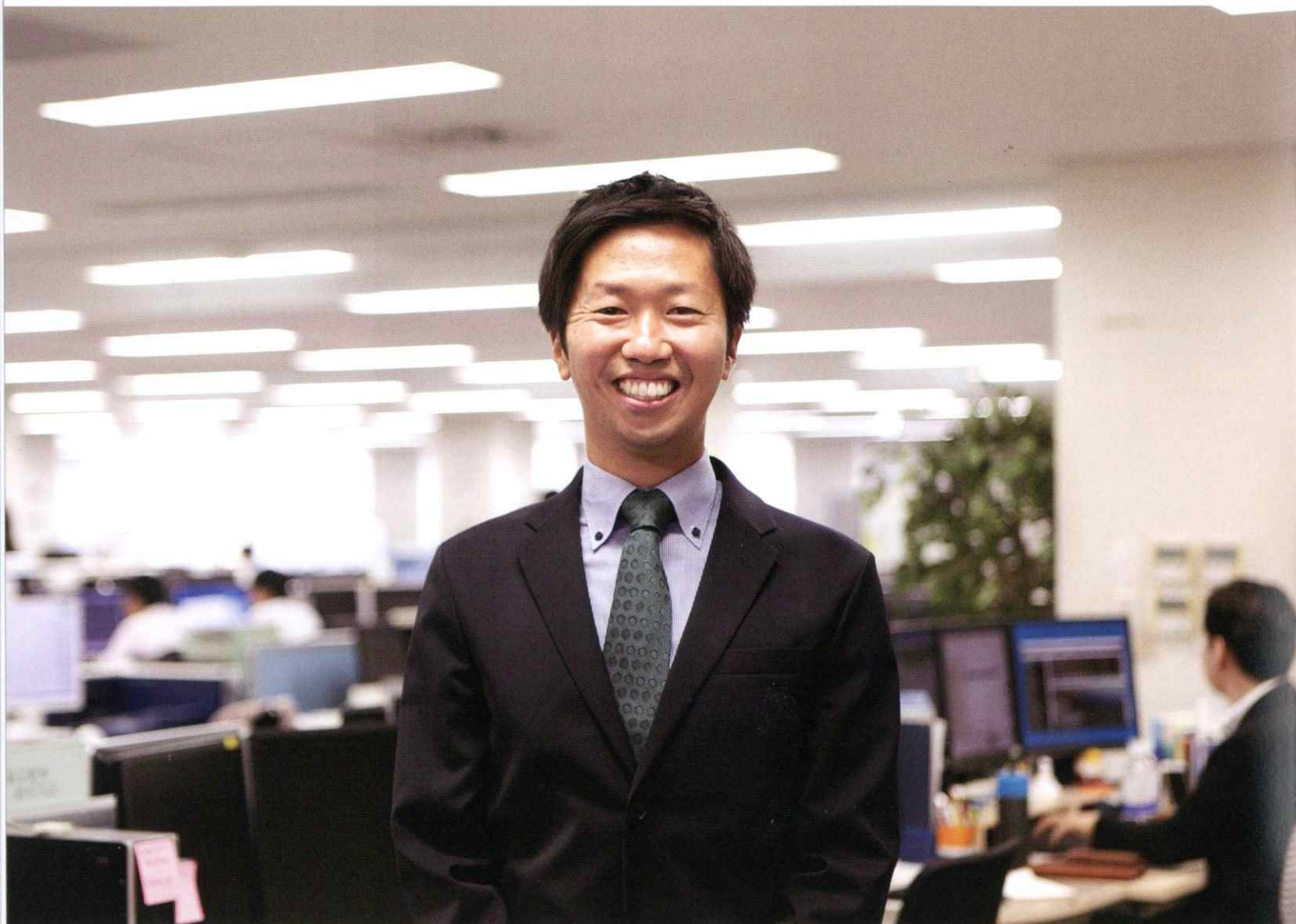
金融系・公共系の開発を通じて得た知見を武器に、民間企業向け提案に力を入れています。通信・放送、電力・ガス、製造、流通など多彩な分野でソリューションを提供します。

<開発システム例>

- ・スマートメーター運用管理システム
- ・通信教育会社向け 教育関連システム
- ・IoT関連システム「RemoteCall、スマートグラス」
- ・RPA「Winactor」
- ・勤怠管理システム「SPRIST」



人命に関わるシステムだからこそ 重責と大きなやりがいを感じることができる。



全国規模のシステムだと、NTTデータのエンジニアと協働で構築にあたる場合もあります。彼らは、私たちが経験したことのないような課題も解決できる知見を持っているので、勉強になるし刺激も受けます。こうした蓄積の厚さが、当社の強みの一つだと思います。

宮井 光

H I K A R U M I Y A I

2011年入社
ヘルスケア 開発担当 課長代理

どれほど多くの人々が ITに期待しているかを実感

情報系学科出身なので、就活でも主にIT企業に絞っていました。重視したのは、広島に本社があり、システム構築の上流から下流までを体験できることです。NTTデータグループというバックボーンを持つ当社には、早い段階から興味を持っていました。そこで説明会に行ってみると、先輩社員が真面目で、接しやすい方々ばかりだったんです。面接でお会いした社長もとても気さくで、こんなに話しやすい社風ならすぐ馴染める、と安心してできました。



所属は、ITインフラを構築する部門です。お客様の状況に合わせて、NW機器・サーバの導入・設定、設置を行い、ITを活用できるようにするのです。入社1~2年の頃は設備導入のため、病院や消防・一般企業などいろんなお客様の所に出向きました。一番多く担当したのは医療関係です。病院間で医療情報をやりとりするネットワーク構築のため、病院へ訪問しました。限られた時間の中で機器の設置を行う必要があり、緊張しながら作業を行ったのを覚えています。

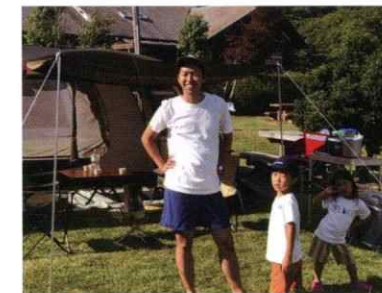
お客様と直接話をすると、システムを使うのはどんな人か、ITにどんな期待を抱いているのか、よくわかります。こういう経験を積み重ねることで、自分たちの仕事の意義が実感できるのです。

四苦八苦だったシステムが 稼働した時、思わず拍手

入社4年目の春、私は一つのプロジェクトにサブリーダーとして携わりました。ある医療系システムの基盤となるITインフラ全般の整備・管理を任せられたんです。

ITインフラは、様々な機器・ネットワークによって構成されます。中には、同じスペックの機器なのに、メーカーが異なるだけでうまく作動しなかったりします。また何かの機器が初期不良を起こす場合もあります。システムを不安定にするこれらの要因を素早く特定し、解決しないといけません。

限られたスケジュールの中で調整・確認を行い、ベストバランスを組むのは簡単ではありません。未熟だった私は、四苦八苦でした。リリース間近で重要機器を交換するなどギリギリの調整を重ねた結果、納期に間に合わせる事ができたんです。設置を完了し、システムが問題なく稼働するのを確認した時は、思わず拍手しました。



どの分野も同じですが、特に医療系には、最大限の安定性が求められます。救急システムがダウンすると最悪の場合、人命に関わるのですから、当然でしょう。何があっても、絶対に止まらない。そんなシステムの構築ですから、苦労しないわけがありません。その分、やりがいも大きい。「社会のインフラそのものを担っている」という手応えがありますよ。

PRIDE of
IT Specialist
Junior

公共システムには、多くの人の 日常を支える責任がある。



中学の頃、父のパソコンでプログラムを組んで楽しんでいたのが、IT 業界を目指すことになったきっかけ。でも今は、自分でプログラムを組むのではなく、多くの人と力を合わせ、関係者を動かしながら一つのものを作り上げていく、という点にやりがいを感じています。

折本 皇一郎

K O U I C H I R O O R I M O T O

2004 年入社
公共 開発担当 課長代理

成功や失敗を重ねながら スキルを磨いていく

課題を抱える顧客の依頼に応え、最適のソリューションを提供するのが、IT のプロである私たちの役目です。

しかし、常にうまくいくとは限りません。時には様々な事情で中断される例もあります。私も、そんな経験をしました。ある企業の販売・物流統合システムだったのですが、途中段階で要件の見直しが入ったりして、その度にプロジェクトを立て直し。最大で 100 人のエンジニアを投入したのですが、うまくいきませんでした。プロジェクトに最初から関わっていた者として、責任を感じます。でも失敗したからと言って立ち止まっているのでは意味がありません。失敗の原因やトラブル時の対処法を検証し、次に活かす糧にしています。



一方、うまくいった事例もあります。入社 2 年めで、ある企業の経営管理システムに携わったんです。私はサブリーダーだったのですが、リーダーの代わりに顧客折衝などを担当するうち、顧客との信頼がどんどん深まっていった。最後の方は顧客というより、協力して良いシステムを構築するパートナーという感じで仕事を進めることができました。このプロジェクトの成功は、大きな自信になりましたね。当時開発したものは、10 年以上経った今も顧客先のメインシステムとして稼働しています。

マイナンバーを行政サービスの 向上につなげるために

今、担当しているのは「マイナンバー」関連。マイナンバーにより行政機関の業務は効率化され、行政サービスの向上が期待されます。この制度を機能させるには、マイナンバーと自治体の様々な情報を連携させなければなりません。業務処理の流れも異なります。これまでの方法を見直し、マイナンバーと連結させる公共システムづくりに携わっているのです。



顧客が一般企業から自治体になった、とは言え、システム開発のフローが変わるわけではありません。ただし、セキュリティは特段強固なものが求められます。また影響範囲が広いのも、公共システムの特徴。私が担当するのは県単位ですが、それは他県のシステムとも連携する必要があります。また国の法律や制度が変わると地方も対処しなければならないため、国全体のシステムとも無関係ではられません。他の NTT データグループの会社でもマイナンバー関連の公共システムを請け負っているため、グループの仲間と情報交換しながら開発を進めています。

公共システムに関わって実感するのが、自分のシステムがどれほど多くの人に影響をあたえるか、ということ。人々に快適さや便利さを感じてもらうためにも、しっかり課題に取り組んでいきます。

PRIDE of
IT Specialist
Senior



東京で培った経験と人脈を 課題を抱える人々のためにフル活用する。



メーカー系列のSI企業と異なり、当社はハードベンダーではありません。当社が提供するものはあくまでシステムであり、ソフトウェア。自分たちの提案するソリューションに合わせ、ハードウェアは柔軟に、最適の環境を選択できる。その点も、当社の特長の一つです。

金本 純子

J U N K O K A N E M O T O

1993年入社
金融 営業担当 統括部長

3000人のメンバーが結集 するプロジェクトを体験

入社してから大半を、私は東京で過ごしました。担当は一貫して金融系システム。東京でのシステム開発はどれも好奇心がそそられるものばかりでした。

忘れられないのが、入社5年めのプロジェクトです。“金融再編”が加速していた頃で「ITを活用し経営効率化やサービス向上を図らなければ」とどの金融機関も躍起でした。そんな中、地方銀行の共同利用システムを作る計画が持ち上がったんです。NTTデータが立てた企画に、20行近くが参加。開発メンバーは2000～3000人。まさにNTTデータグループだからできるプロジェクトだったと思います。



これだけステークホルダーが多いと、要件を定義するだけでも一苦労。さらに基本設計、詳細設計、テストと段階を踏む度に確認や調整が必要になってきます。コストもスケジュールもギリギリの中、全メンバーが力を尽くし、5年をかけてやり遂げました。あれほどしんどいことはなかったですが、おかげでどのプロジェクトに参加しても大丈夫だな、という自信にもなりました。

プロジェクト以降、仕事でいろんな地方の金融機関を回ったのですが、どこに行っても「あのプロジェクトに参加したのですか」と話題になりますよ。自分の経験したプロジェクトの意義の大きさを実感します。

地元発展と部下育成のため スキルの出し惜しみはしない

東京にいと、人脈も広がります。あるプロジェクトで一緒になった、女性の事業部長がいました。その方の調整力は群を抜いているんです。プロジェクトに問題が発生しても、決して頭ごなしでなく、現場の立場で一緒に考え、関係者をうまく巻き込む。だからメンバーが素直についていくんです。人を動かす力を持ったリーダーはすごい、私もそうなりたと思いました。



NTTデータグループにはいろんな会社があり、多彩なソリューションを実現している。金融系に限らず公共系でも法人系でも、どういった課題に対しても、必ずフィットする解決策を持っているのは、大きな強みです。長く東京にいたおかげで、NTTデータグループのどこでどんなソリューションが展開されているか、身に付けられました。

その経験や知識、あるいは人脈を、中国地方にどんどん還元していくつもりです。中国エリアにも、事業推進や経営、業務効率化・サービス充実などの面で困っている顧客はたくさんあるでしょう。私はメンバーとともに顧客を訪ね、ソリューションを提案していきます。また若いメンバーに、様々なステップアップの機会を提供するのも役目の一つ。出し惜しみせずに私の経験を提供し、NTTデータ中国の、そして中国エリアの発展に寄与したいですね。

PRIDE of
IT Specialist
Manager

新人エンジニアの One Day Schedule



地元を軸足を置き、地域に貢献できる仕事がしたい。チャンスがあれば、東京で最先端のITに触れてみたい。そう考える私にとって、NTTデータ中国は最善の職場です。

谷奥 俊輝 TOSHIKI TANIOKU

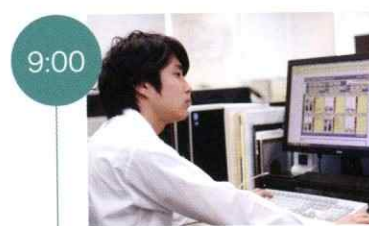
2019年入社
金融 開発担当



大学のゼミの先生がNTTデータ中国の出身だったんです。その紹介で会社訪問してみると、とても和気あいあいとした雰囲気安心して働けそうだと実感しました。

岡田 萌美 MEGUMI OKADA

2019年入社
金融 開発担当



9:00

朝は9:00前くらいに出社。前日までに届いたメールに一通り目を通し、その日のスケジュールを確認してから、システムで使用するツール作成などを開始します。



10:00

まだまだわからないことだらけなので、仕事については先輩の指示を仰ぎます。相談に行くこともしょっちゅうですが、どの先輩も熱心に対応してくれます。



12:00

昼食は同僚と連れ立って外食することが多いですね。中華料理店や居酒屋の昼メニューなど、飲食店が結構充実しているので、助かっています。



14:00

担当するシステム構築についてお客様に電話で確認。お客様の業界や仕事の流れなども理解しておかないと、使い勝手の良いシステムにはなりません。



17:00

仕事が終わらない日は1~2時間の残業をすることもありますが、ほとんどは定時に退勤。家に戻ってゲームなどしながら、疲れた脳と体をリフレッシュしています。



8:30

銀行様のシステムが稼働する前の8:30頃に出社。始業後はチームで10分程度のミーティングを行います。互いの行動確認や、最近起こったトラブルなどの情報を共有する。大事な時間です。



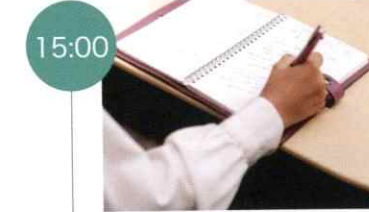
10:00

先輩の指示に従って、その日の業務をスタート。書類を整理したり、お客様のIT環境を調べたり。金融系の担当なので、金融業界についての勉強をしたりもします。



13:00

お昼はお弁当を持参。見晴らしのよいリフレッシュルームで、同僚と一緒に食べます。リフレッシュルームは仕事の合間に息抜きしたい時も、よく利用します。



15:00

仕事中は常にメモを持参。先輩の指示はもちろん、打合せ中に出た専門用語などもなるべくメモっておき、後で調べようとしています。知らないことばかりなので。



18:00

繁忙期には残業もありますが、大体は定時に会社を出ます。オフタイムは同僚と食事に行ったり、ジムで汗を流したり。通勤は路面電車で一本なので、楽ですね。

一人ひとりの成長をバックアップする環境

育成プログラム

プロフェッショナル CDP 認定制度とは

当社が目指すのは、社会に通用する人材の育成です。NTTデータグループでは、プロフェッショナル CDP という独自の仕組みを構築。職能別に顧客や社会から求められる要件を設定・資格化することで、客観的な能力レベルの測定と向上支援を行っています。

プロフェッショナルになるための育成カリキュラム

入社後、4~5月の2ヵ月間の新入社員研修においては、NTTデータグループの新人が一堂に会して、社会人としての基本と業務の基礎知識を学びます。新入社員研修後は、5年間で11講座におよぶ CDP ベーシック研修を受講。IT 人材として基礎となる知識・スキルを習得します。

また、四半期毎に上司との面談を通じて、自らの将来像、目指す人材タイプのすり合わせを行います。

これらに代表される教育プログラムと日々の業務を通じて社員の成長を促し、社員が自ら意欲的に学ぶ風土を醸成することに努めています。

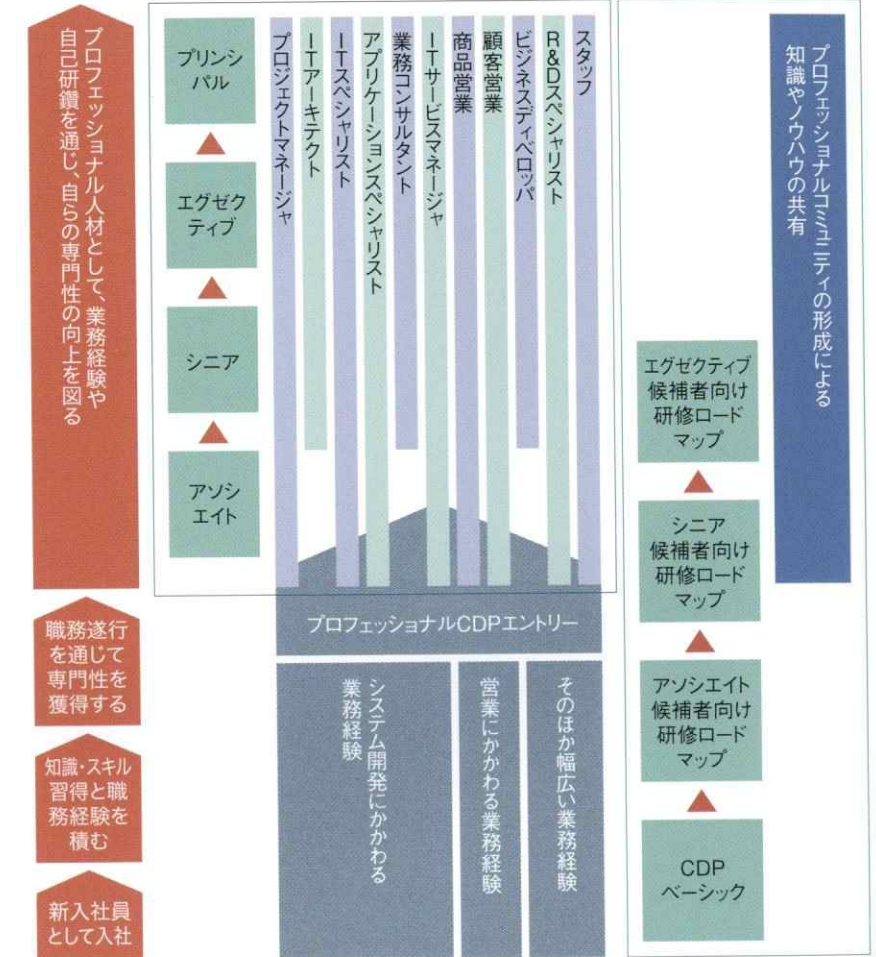
福利厚生

NTTデータ中国では、NTTデータグループの一員として、社員が働きやすい環境となるよう、福利厚生制度を充実させています。例えば、育児のための短時間勤務制度では、法律で定める取得期間を超える年数を取得することができます。また、年次有給休暇の完全取得にも取り組んでおり、取得率は毎年ほぼ100%を達成しています。それらの取り組みが評価され、子育て支援など一定の水準を満たした企業を国が認定する「くるみんマーク」を取得しました。

更には、野球サークルなど、仕事以外の活動でも社員間の親睦を深めています。

プロフェッショナルCDP認定制度

育成カリキュラム



職務遂行を通じて専門性を獲得する

知識・スキル習得と職務経験を積む

新入社員として入社



社員の健康維持・促進

●産業医による職場巡回面談

働きやすい職場づくり

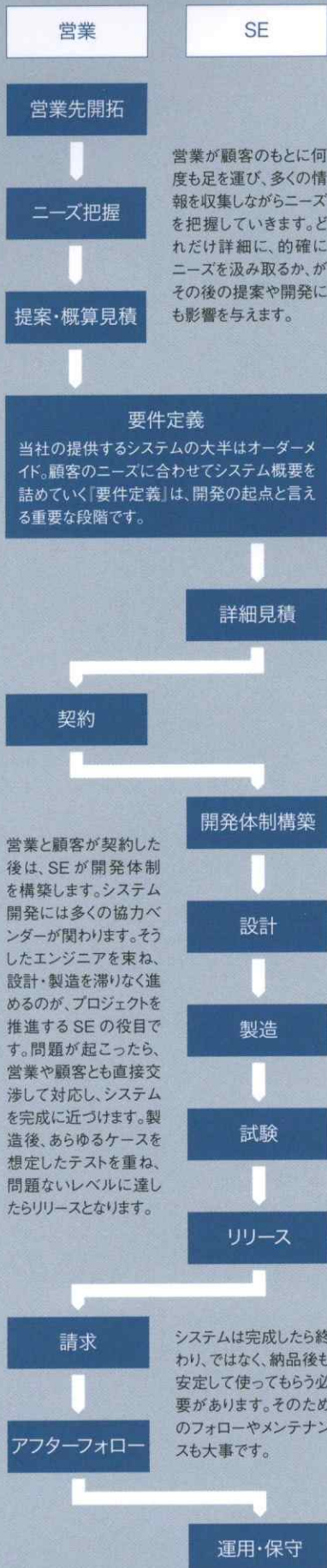
- 育児休職制度
- 育児のための短時間勤務制度(小3の年度末まで)
- 介護休業制度
- 休暇制度(週休2日制に加え、夏季休暇、年末年始休暇、年次有給休暇、結婚休暇、ライフプラン休暇等)

快適な職場環境づくり

●安全衛生委員会の設置

Development Flow

システム開発の流れ



NTT Data
Trusted Global Innovator

株式会社 NTT データ中国

〒732-0816 広島市南区比治山本町 11-20 NTT DATA 比治山ビル

Tel: 082-252-3322

<https://www.nttdata-chugoku.co.jp/>